

脇地域実質化された京カ農場プラン

市町村名	地域名 (該当集落名)		当初作成年月	更新年月
宮津市	栗田	脇	平成30年3月	令和3年3月

1 対象地区の現状

a 地区内の耕地面積	9.60 ha
b アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕地面積の合計	5.58 ha
c 地区内における80歳以上の農業者の耕作面積の合計	1.17 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.00 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	1.17 ha
d 地区内において今後中核的担い手が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
e 地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.00 ha
(備考)	
dは、5年以内に引受意向のある面積	

2 対象地区の課題

課題

新規就農者の参画ににより若手が担う面積の割合が比較的多いが、80歳以上の耕作者の耕作面積は現状1.2haで、今後5年間では大きな増加はないものの徐々に農地が空いてくる可能性がある。また、6～10年先では80歳以上が担う農地が現状の1.2haから2.3haまで増加する見込み。アンケートでは後継者が確定している経営体がないため、新規就農者の確保や主要農家が効率的な農地利用ができるよう利用調整が必要。また、農家が減少していく中、農地の維持だけでなく、農道・水路等の施設の管理面においても、地域で考えていく必要がある。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

中核的担い手を中心に農地集約による農地利用の効率化を進める。